

居宅介護・移動支援 2人付派遣における留意点等

平成 20 年 1 月 神戸市自立支援課

1 基本的な考え方

受給者証又は利用者証の「支給量等」欄に、 $A時間 \times 1人付 + B時間 \times 2人付 = 延べ(A + B \times 2)$ 時間/月 と記載されている場合、利用者がサービスを受けられる時間の上限(支給時間上限)は(A + B)時間である。

事業者は、(A + B)時間のうち、B時間まで2人付でヘルパー派遣を行うことができるという趣旨であり、2人付を1人付に読み替え、 $(A + B \times 2)$ 時間、サービスを提供することはできない。

【別紙1 「受給者証・利用者証『支給量等』欄の見方」参照】

～誤ったサービス提供・請求事例～

支給量 : 「18時間 \times 1人付+14時間 \times 2人付=延べ46時間/月」

サービス提供: 1人付で34時間, 2人付で6時間サービス提供(1回あたりの派遣時間1時間)

サービス提供形態	Aヘルパー	Bヘルパー
1人付	34時間	
2人付	6時間	6時間

請求内容 :

サービス内容	回数
身体日中 1.0	40回
身体日中 1.0 2人(2人目)	6回



サービス提供延時間=46時間

サービス提供時間=40時間 > 支給時間上限 32時間 → **8時間オーバー**

(1) やむを得ず、支給時間上限を超えてサービスを提供した場合

上記は、2人付の決定がされている場合の原則的取扱を示したものであり、やむを得ない事由により、支給時間上限を超えてしまったケース※1について一律に請求を禁止するものではない。

※1 2人付で1時間の入浴介助を予定していたが、事業者と利用者の調整がつかず、1人のヘルパーによりサービスを提供し、所要時間が2時間になってしまった場合等。ただし、この場合においても、延支給時間上限(上記事例では46時間)を超えた請求はできない。

(2) 複数事業者によるサービス提供の場合

1人の利用者に対して、複数の事業者がサービスを提供する場合、支給時間上限及び延支給時間上限を超えないよう事業者間で調整すること。

また、2事業者から各1人ヘルパーを派遣し、同時に2人付でサービスを提供する場合、い

いずれか一方の事業者は2人目のサービスコードで請求すること。(どちらの事業者が2人目のサービスコードを使用するかについても調整が必要。)

2 各種帳票の記載

(1) 「障害福祉サービス契約内容等記入表」又は「移動支援事業者記入簿」

2人付の決定がされている場合、「契約支給量」欄には単に「延〇時間」と記載するのではなく、「〇時間×1人付, 〇時間×2人付, 延べ〇時間」と詳細に記載すること。

【別紙2 「障害福祉サービス契約内容等記入表・移動支援事業者記入簿 記載の仕方」参照】

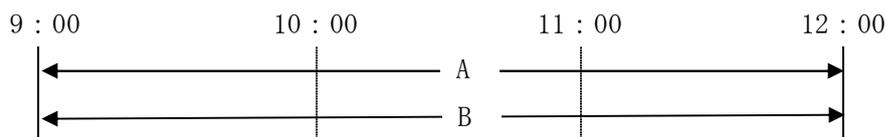
(2) サービス提供実績記録票及び明細書(介護給付費等明細書又は補助金明細書)

下記記載例を参照し, 作成すること。

① 2人のヘルパーが同一時間帯でサービスを提供する場合

～事例～

移動支援 ヘルパーAとヘルパーBが9:00～12:00まで2人付でサービスを提供



【実績記録票】

日付	曜日	サービス内容	サービス提供時間		算定時間数		派遣人数	サービス提供者印
			開始時間	終了時間	時間			
1	月		9:00	12:00	3		2	Ⓐ Ⓑ

派遣人数は「2」

2人の印を押す

【明細書】

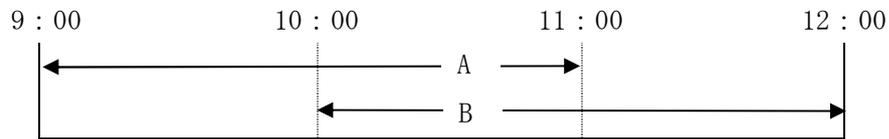
明細欄	サービス内容	サービスコード	単位数	回数	サービス単位数
	移動支援身体介護 3H	162116	675	1	675
	移動支援身体介護二人 3H	162156	675	1	675

注) サービスコード及び単位数は変更になりますので、最新のサービスコード表等でご確認ください。(以降同じ)

② 1人付のサービス提供に連続して二人付のサービス提供を行う場合(又は二人付のサービス提供に連続して1人付のサービス提供を行う場合)

～事例～

移動支援 ヘルパーAが9:00～11:00まで、ヘルパーBが10:00～12:00までサービスを提供(10:00～11:00が2人付)



【実績記録票】

日付	曜日	サービス内容	サービス提供時間		算定時間数		派遣人数	サービス提供者印
			開始時間	終了時間	時間			
1	月	①	9:00	11:00	2		1	Ⓐ
1	月	②	10:00	12:00	2		1	Ⓑ

同一日で複数行に記載する場合は連番をふる

2行に渡り記載するため、派遣人数は「1」

各行ごとに1人ずつ押印

【明細書】

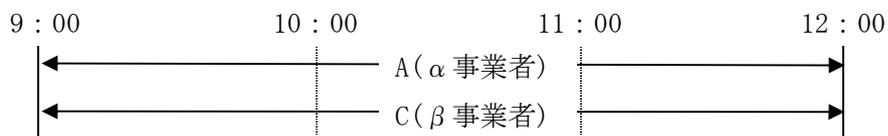
明細欄	サービス内容	サービスコード	単位数	回数	サービス単位数
	移動支援身体介護 3H	162116	675	1	675
	移動支援身体介護二人 1H	162152	300	1	300

1人目は3時間、2人目は1時間として請求すること

③ 2事業者から各1人ヘルパーを派遣し、同時に2人付でサービスを提供する場合

～事例～

移動支援 α事業者のAヘルパー及びβ事業者のCヘルパーが同時に9:00～12:00までサービスを提供



【実績記録票】α事業者

日付	曜日	サービス内容	サービス提供時間		算定時間数		派遣人数	サービス提供者印
			開始時間	終了時間	時間			
1	月		9:00	12:00	3		1	Ⓐ

派遣人数は「1」

【実績記録票】β事業者

日付	曜日	サービス内容	サービス提供時間		算定時間数		派遣人数	サービス提供者印
			開始時間	終了時間	時間			
1	月		9:00	12:00	3		1	Ⓑ

派遣人数は「1」

【明細書】α事業者

明細欄	サービス内容	サービスコード	単位数	回数	サービス単位
		移動支援身体介護 3H	162116	675	1

【明細書】β事業者

明細欄	サービス内容	サービスコード	単位数	回数	サービス単位
		移動支援身体介護二人 3H	162156	675	1

α又はβいずれかの事業者は2人目のコードで請求する

【別紙「移動支援 実績記録票記載例」, 「移動支援 補助金明細書記載例」参照】